

学校運営協議会議事録

| | |
|-----|------------|
| 校名 | 大阪府立難波支援学校 |
| 校長名 | 室田 澄江 |

| | |
|---------|--|
| 開催日時 | 令和 8年 2月18日(水) 13:30~14:35 |
| 開催場所 | 大阪府立難波支援学校 校長室 |
| 出席者(委員) | 小林委員、上宮委員、大島委員、鈴木委員、谷口委員、藪根委員 |
| 出席者(学校) | 室田校長、麻生川教頭、植松首席、吉村首席、大原首席、引野事務長 |
| 傍聴者 | なし |
| 協議資料 | 令和7年度学校経営計画及び学校評価、学校教育自己診断(結果)、分析 令和8年度学校経営計画 |

議題等(次第順)

- ・令和7年度学校評価について
- ・令和8年度学校経営計画について
- ・その他

協議内容・承認事項等(意見の概要)

令和7年度学校評価及び令和8年度学校経営計画について承認され、各委員から次の意見が出された。

(人権教育の充実)

「子どもの人権尊重に関する研修会」の実施について、先生方同士でグループワークをする機会は大切だと思う。普段話すことのないような職員同士の話し合いの中で、何か新しいものが生まれたりして、非常に大切な、貴重な機会である。先生方の連携というのは、子どもたちに直接伝わっていくもの。

障がいのある子どもたちの、いわゆる発達とか、成長という見方も人権尊重のもう一つの見方ともいえるので、このことを柱として取り入れていただけると、さらに良い研修会になる。

先生方の表情がすごく明るい。このことは、先ずその学校としてのあり方として一番やっぱり大事なところであるといつも感じている。そして誰もよく挨拶をされるので、やはり本当にそういう基本的なところをしっかりとされているところが、子どもたちへの教育の支援に繋がっていくのではないかと。子どもが本当に笑顔で過ごしているというのが、一番ものすごく有難い。

(自然災害等に備えた安全・安心な教育環境の確保及び安全教育の充実)

やはり頭で聞いて考えているよりも、実際に体験してみるということはずごく大切なことであり、地域の中でも防災リーダーとかそのような方の力も借りて実際に経験していくこともすごく大切である。

(専門性の向上)

令和7年10月から就労選択支援が始まった。お子さんが就労継続支援事業所のA又はBに行くときは、原則、就労選択支援事業者のアセスメントを受けなければならなくなった。学校の先生方のご意見を踏まえながらアセスメントをしていかないとまともなアセスメントにならないのではないかと思っているので、福祉事業者との連携も意識いただきたい。

(やさしい日本語の使用の推進)

外国籍の方に対しても有用であるのではないかと。分かりやすい言葉で伝えることが大事である。

(授業改善の仕組み構築)

教職員用学校教育自己診断アンケートについて、配付プリントが他のプリントと同時に配られると、QRコードが付いていても結構見逃す保護者もいるのではないかと。回答率を上げるためには、他のプリントと区別が出来るようにしたり、QRコードを記載した掲示板を設置して来校した保護者が容易に回答を出来るようにしたりするなど、アンケートの機会や方法などの一定の工夫が必要である。

次回の会議日程

| | |
|----|---------------------------------|
| 日時 | 令和8年6月下旬から7月上旬(具体的な日時は令和8年度に決定) |
| 会場 | 難波支援学校(具体的な会議室は未定) |